神 人を愛し 国を愛し 勤めを愛す

リコー三愛グループ創業者 市 村

く引は「別り意味というにない、人引から)という三愛精神は、私の生涯の信念である。わないが、「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」あの有名な西郷さんとくらべられたいとは思

ないだろうか。

大間は万物の霊長といわれるが、人間ひとりの価値は、人によって見方が異なる。学がよりの価値は、人によって見方が異なる。学がはいだろうか。

うになる。そのためには、自分を犠牲にしてもりたけは愛し、ついには自己以上に愛するよ子を愛し、両親を愛し、兄弟を愛する。すこし上等な人間になると、隣人愛にめざめ、次には上族を愛し、祖国愛となり、さらに進めば世界民族を愛し、祖国愛となり、さらに進めば世界民族を愛し、祖国愛となり、さらに進めば世界民族を愛し、祖国愛となり、さらに進めば世界民族を愛し、祖国愛となり、さらに進めば世界の全人類を愛する。それがなおも徹底すれば、自分を犠牲にしてもすべての動物に自己保存があるように、人間すべての動物に自己保存があるように、人間

決定するものであると確信する。
に、愛の深さと広さとが、どのくらいの段階にに、愛の深さと広さとが、どのくらいの段階に釈迦さまやキリストがそれである。このよう釈迦さまなまでは、すでに仏であり神であろう。お惜しくない大きな愛の高まりにまで徹する。

る。

「愛」の精神は、すでに多くの偉人たちが説の一つ。の精神は、すでに多くの偉人たちが説のであり、同時に絶対の信念である。けれども字引に「三愛」とは出ていない。生じ、二は三を生じ、三は万物を生じる」とあいている。しかし、私はあえて「三愛」の旗をいている。しかし、私はあえて「三愛」の旗をいている。

私の提唱する三愛主義とは、人を愛し、国を をして、まずすべての人を愛すること。 の一員として、まずすべての人を愛すること。 として、まずすべての人を愛すること。 をして、まずすべての人を愛すること。 が、自分にあたえられた任務を愛し、世界人類

全国民が三愛の精神に燃えたつならば、日本国三愛主義こそ唯一救国の大道である。日本の

はますます栄えると信じる。

う。「三は万物を生じる」の三愛精神は、どのような場合にも通用する。事業について言うならうな場合にも通用する。事業について言うならい。当時を愛し、資本を愛し、事業をのものをでする。利益があれば、社員と、資本と

るがよい。

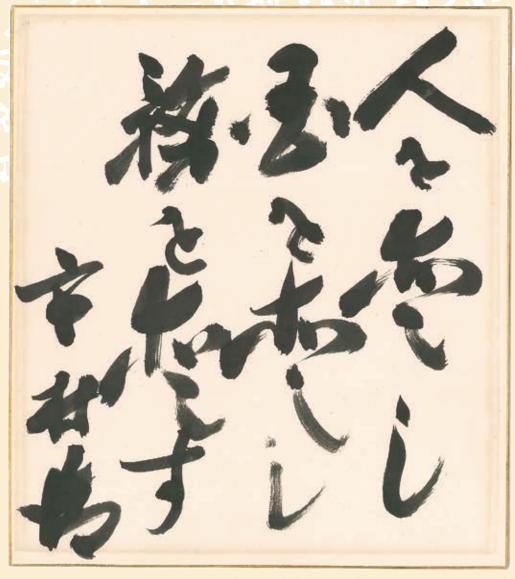
生活を楽しむなら、衣、食、住を心から愛す
要し、学問そのものを愛することである。
教育について言うなら、教師を愛し、生徒を

感謝する。

・自己を磨くときは、過去を反省し、現在を努し

と願うからである。と願うからである。と願うからである。と願うからである。とれるのは、いよいよ自己の信念に忠実でありたいるのは、いよいよ自己の信念に忠実でありたいるのは、いよいよ自己の信念に忠実でありた。この三愛の精神を信じ、三

ではないか。
の精神に徹して、日本の発展に全力を傾けよう
私の愛してやまない社員諸君、今後とも三愛



市村 清 揮毫 (昭和35年5月23日 社長室において)

1946 (昭和21) 年12月、「三愛精神」発表当時の日本は、都市のほとんどが焦土と化しておりました。衣食住のすべてに困窮していたとき、機関誌を出すなどは、およそ常人には及びも付かないことでした。

しかし、市村清はわずか16ページの粗悪なザラ紙の雑誌ではありましたが、日本の復興と未来の発展を信じ、リコー三愛グループの機関誌『三愛』を創刊、その誌上にかねてより温めてきた自らの人生哲学ともいうべき論文を掲げたのです。ときに創業者・市村清46歳でした。

発表された「三愛精神」は文語体、旧字体などで記された格調高い文章ですが、難読であるため、 1987年、「読みやすい三愛精神」として現代の文体で著されました。

三 愛 会